

新型コロナウイルス感染症に伴う当院の現状と施策につきまして

新型コロナウイルス感染症は依然として第2波の懸念は残り、決して油断できる状況ではありませんが、一時期と比較すると新規患者の発生は大幅に減少してまいりました。

当院におきましても、引き続き油断することなく感染防御対策継続しつつ、可能な限り平時と変わらぬ医療サービスを提供できるよう努めております。

当院における感染防御対策といたしましては、今後も当面の間は

- ① 職員の就業前体温測定、発熱・体調不良時就業停止の徹底
- ② 食堂・更衣室・休憩室などでの3密防止
- ③ マスクの常時着用とアルコールによる手指消毒、頻回手洗い等、スタンダード・プリコーションの徹底、必要に応じグローブ・ゴーグル・フェイスシールドの着用
- ④ 定期的な、かつ頻回な換気
- ⑤ 定期的な、かつ頻回な環境消毒（椅子、机、手すり、スイッチ類など）
- ⑥ 来院患者様全員に対しての病院入口における体温測定（サーモカメラを導入しました）、体調不良等の問診の徹底（特に結膜炎症例）
- ⑦ 受付にビニールカーテン導入
- ⑧ 入院患者の面会制限、付き添い制限

等の施策を継続することにより院内感染防止に努めつつ、外来診療や白内障・緑内障・網膜硝子体・角膜移植・眼瞼・斜視等の手術につきましては、通常通りの診療を継続しております。また以前一時中止をお知らせした涙道手術ですが、すでに再開済みの涙道内視鏡手術に加えて、涙嚢鼻腔吻合術も再開し、**7月からはずべての診療・手術を通常通りの体制で行っております。**全国の医療施設と同様に、当院におきましても患者様の来院数や手術件数が減少しておりますが、その分、患者様を長期間お待たせせず手術が可能です。

医療スタッフの疲弊や風評被害、感染防護具などの医療物資の不足、外来受診数や手術件数減少による経営状態の悪化など、私達医療従事者には厳しい逆風が吹いております。当院といたしましては、ご紹介いただきました患者様には、眼科診療に対しても感染防御に対しても安全かつ高水準の医療サービスをご提供し、治療後は可能な限り紹介元にお戻しできるような気を配り、地域の医療に貢献してまいりたいと考えております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

2020年6月19日

小沢眼科内科病院 院長 小沢忠彦

副院長 木原真一